

植村建設など12社に

札幌建管



札幌、渡辺彰彦社長）など十二社が受賞。上谷誠司副局長が、各社の代表者一人ひとりに感謝状を手渡し、その功績をたたえた。

表彰式は、異常気象等によって被害を受けた公共土木施設の早期復旧に多大な貢献のあった企業を

札幌建管は二十一日、二十八年度災害対応等協力者表彰式を執り行った。植村建設（株）（赤平、植村正志社長）や（株）開発調査研究所（札

表彰し、建設業の社会的評価と従事者の地位の向上に資することを目的としている。今夏の台風によって、建管が所管する道路・河川

では様々な被害が発生。多くの建設業者が災害対応に協力した。管内からは、緊急工事部門で五社、緊急委託部門で七社が受賞した。|| 七日付5面既報 ||。

はじめに、上谷副局長が企業各社の代表に感謝状を授与。引き続き、あいさつに立った上谷副局長は「皆さんの迅速な応急復旧・調査設計によって管内の施設被害が最小限に抑えられた」と謝意を示し、その上で、「頻発する災害に対応すべく、今後も危機感をもって防災・減災対策に取り組んでいく」と述べた。

このあと、受賞者を代表して（株）櫻井千田（奈井江）の櫻井雅聖社長があいさつ。災害対応について、「被災箇所が多かったため、人員の確保・機材の手配に苦労したが、早期復旧によって地域の皆さんに喜んでいただけた」と話し、「今後とも地域の安全で安心な暮らしを守る重要な職務を担っ

ていることを忘れず、努力と研鑽を重ねていく」と決意を新たに示した。